

# やまなし 県議会 だより



5月18日に苗吹市内で開催された「令和6年度県民緑化まつり」に参加

## 六月定例会の概要

県議会は、令和六年六月定例会を六月二十五日から七月十日までの十六日間の日程で開催しました。

知事の説明を受けて六月二十八日、七月一日、二日、三日の四日間、代表・一般質問を行いました。(詳報は二面)

七月四日には、教育厚生、農政産業観光委員会、五日には総務、土木森林環境委員会を開催し、付託案件や所管事項の審査を行いました。(詳報は三面)

提案理由説明で知事は、人口減少危機対策について、「経済要因の調査により奨学金返還の負担が、婚姻、出産等に影響していることが明らかになったことから、基金を設置して若者の奨学金返還を支援することとし、最終的には若者を経済的な『自立』に導くべく、スキルアップを促し、より良質な雇用につなげていくことが、持続可能な人口減少危機対策であり、人材確保対策である」との考えを示しました。

定例会最終日の七月十日の本会議には、令和六年度一般会計補正予算、やまなし人材定着奨学金返還支援基金条例制定、県物流基盤の強化に関する条例制定、議員提出による地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書など二十七案件を可決、同意、承認して閉会しました。

**人口減少の危機を克服するための抜本的・集中的な取組を国へ求める意見書を可決**

また、富士山登山鉄道構想では、「様々な視点から多様な意見を交わし、将来像を地域住民とつくり上げていくことで、将来の交通システムの最適解が導き出されるはずである」と強調しました。

県議会では、人口減少という重大かつ喫緊の課題に対して、人口減少危機の突破を担う国の二元的な組織体制の整備、プレコンセプションケアや卵子凍結等に関する支援制度の創設等を求める意見書を七月十日の本会議において可決し、衆参両院議長及び関係府庁あてにそれぞれ提出しました。

**新益のあいさつまわりについて**

新益のあいさつまわりにつきましては、自粛することを申し合わせています。県民のみなさまのご理解をお願い申し上げます。

山梨県議会議員一同

## 県議会トピックス

### かいくーるをPR

6月定例会の開会日に、全議員と県幹部が、富士北麓の繊維産業の活性化や涼しく過ごせる夏服のエコロジー、山梨の自然なライフスタイルの表現等を目指して製作された「かいくーる」を着用し、PRしました。



### 災害見舞金の贈呈

山梨県議会では、4月3日に発生した台湾花蓮地震(台湾東部沖地震)での被害に対し、早期の復興と平穏な日常の回復を願い、全議員からの抛出による見舞金を贈りました。



蔡明耀公使に見舞金を手渡す卯月議長(右)

### 永年勤続議員を表彰 地方自治の発展に貢献

永年議員の職にあつて県政推進に功績のあった水岸富美男議員(自由民主党 政風やまなし、都留市・西桂町)に対して、卯月政人議長から山梨県議会議長賞が交付されました。



表彰を受ける水岸議員(左)

県議会のホームページもご覧ください。

定例会の日程や会議録の検索など、議会の情報が満載です。本会議のインターネット中継も見ることができます。

山梨県庁ホームページの中段、県政情報にある「県議会」から入ることができます。(ホームページアドレス <https://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/index.html>)



6月定例会では、6月28日、7月1日、2日、3日の4日間にわたり、代表、一般各質問を行いました。各議員の質問項目は次のとおりです。

### 代表質問

- 人口減少危機の突破に向けた取り組み
- がん対策の更なる推進
- 富士山登山鉄道構想の推進
- リニア中央新幹線の開業に向けた取り組み
- 県土強靱化の取り組み
- 山梨県こども計画
- 県有林の有効利用
- メデイカル・デバイス・コリドー構想の更なる推進
- インバウンド観光の更なる振興に向けた取り組み
- 本県農業の振興
- 中部横断自動車道長坂以北における県の取り組み
- 「やまなしモデルP2Gシステム」の導入拡大に向けた取り組み
- 少人数教育の推進

自由民主党・開の国 浅川力三



- 新たなケアラー支援
- 介護報酬改定に伴う対応
- こころの発達総合支援センターにおける発達障害児に対する支援の強化
- 新山梨環状道路の整備
- 県内企業の医療機器分野への参入支援
- 水素・燃料電池関連産業の振興
- 富士北麓地域から国中地域への誘客促進
- 山梨県立美術館に附属するデザインセンターの設置
- 高齢運転者の認知機能検査
- 都市緑地に関する広域計画の策定
- 能登半島地震を教訓とした地震対策の推進
- 県職員の職場環境の整備

自由民主党新緑の会 臼井友基

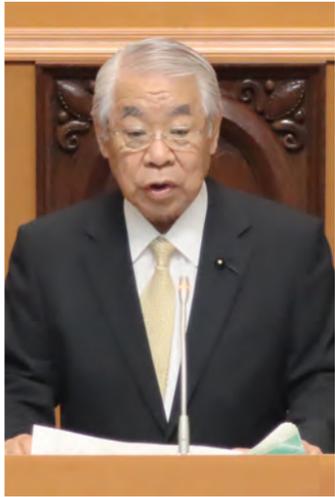


自由民主党 政風やまなし 水岸 富美男



- 富士山の保全と活用
- 富士五湖自然首都圏フォーラム
- 地域公共交通の利便性向上
- 新たな挑戦への支援
- 富士・東部医療のケア児支援センターを中心とした支援体制
- 災害時における精神科医療体制の機能強化
- プレコセブションケアの推進
- 地球温暖化対策
- 物流の二〇二四年問題への対応
- アウトドアサウナによる更なる観光振興
- 峡東地域への誘客促進
- 国民スポーツ大会の見直し
- 韓国忠清北道との青少年交流

未来やまなし 土橋 亨



- 富士山登山鉄道の安全性
- リニア新駅整備を契機とした県全体の活性化
- DXの推進
- 若者の人材確保・定着に向けた取り組み
- 人口減少社会における高齢者バウチャーの活用
- 指定管理者制度における管理運営
- 介護従事者の処遇改善
- 山中湖畔県有地の賃貸借契約
- 特定外来生物への対応
- 中小企業の脱炭素化の推進
- 教員の特別免許状制度の活用
- 県警察における悪質なホストクラブに対する取り組み
- サイバー犯罪の防止対策

### 一般質問



飯島力男 (自由民主党・開の国)

- 国道百四十号西関東連絡道路の整備
- 若年世代のライフプラン形成に対する支援
- 県産果実の更なる品質の向上
- 今後の少人数教育の実施に係る取り組み
- 出水期における災害対策



伊藤 毅 (自由民主党・新緑の会)

- 高齢者がいきいきと元気でいられる取り組み
- 水道及び生活排水処理施設の広域化に向けた取り組み状況
- 災害時の支援物資の受入体制
- 上水道の耐震化
- 都市計画道路田富町敷島線の無電柱化
- 脱炭素先行地域に選定された甲斐市との連携



中村正仁 (自由民主党・開の国)

- 女性活躍の環境づくり
- 避難所に指定された公立学校体育館への空調設備の導入による避難所の環境改善
- 「金川の森」ターゲット・バードゴルフ場の整備
- 農業分野におけるカーボンフリーの実現に向けた取り組み
- 笛吹八代スマートインターへのアクセス道路の整備
- 学校と地域との連携・協働の推進



望月大輔 (自由民主党・新緑の会)

- 認知症対策
- 困難を抱える妊産婦への支援
- 放課後児童クラブ
- 地域おこし協力隊の活動支援に向けた取り組み
- 甲府城南側周辺整備
- 個別の能力を伸ばす教育の取り組み



菅野幹子 (日本共産党)

- ジェンダー平等
- 学校給食費無償化
- 放課後児童クラブの開所・利用
- 医療・介護の充実
- 外国人労働者の県内就労
- 公募型プロポーザル
- ゴルフ場造成事業の適正化
- 富士山登山鉄道構想
- 知事の政治資金をめぐる問題



白壁賢一 (自由民主党)

- 半導体関連産業の誘致
- 国際交流の推進
- 富士山火山防災対策
- 認知症高齢者を支える取り組み
- 自殺防止対策の推進
- 中小企業への持続的な支援
- レンタカーの利用を通じた外国人観光客の県内周遊の促進
- 地域特産品を活用した農村地域の活性化
- 外国人観光客に対する交通安全対策



佐野弘仁 (公明党)

- 男性の育児休業取得促進に向けた取り組み
- 女性のひきこもり
- 災害時における発達障がいのある子どもへの避難所での配慮
- 本県の気象防災業務支援のための気象防災アドバイザーの活用
- 外国人介護人材の確保
- 全国都市緑化フェアの本県開催
- 地震災害への耐震改修等の備え
- 濁川流域の洪水対策



福井太一 (えがお夢)

- 小淵沢エリアの振興
- 教職員の多忙化解消と人材確保
- インクルーシブ教育の推進
- 山梨県地域公共交通計画の具現化
- ジェンダー平等社会の推進
- 豊かさ共創スリーアップ
- 災害時の民間機関との連携
- 国民スポーツ大会に向けた既存施設の整備

その他の議案を含めた議員別の賛否はホームページでご覧いただけます。

#### 議案に対する各会派の賛否 (起立採決分)

議案の名称	議決結果	自由民主党・開の国	新緑の会	自由民主党	政風やまなし	未来やまなし	日本共産党	自由民主党	公明党	リベラル山梨	やまなし県民会議	えがお夢
<b>知事提出議案</b>												
第77号 (山梨県ゴルフ場造成事業の適正化に関する条例改正の件)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
第80号 (令和6年度山梨県一般会計補正予算(第5号))	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
<b>議員提出議案</b>												
議第10号 (人口減少の危機を克服するための抜本的・集中的な取組を求める意見書)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対

**可決・承認・同意された主な議案**

- やまなし人材定着奨学金返還支援基金条例制定の件
- 山梨県物流基盤の強化に関する条例制定の件
- 山梨県ゴルフ場造成事業の適正化に関する条例改正の件
- 令和6年度山梨県一般会計補正予算
- 山梨県富士山吉田口県有登山道設置及び管理条例改正の件
- 山梨県教育委員会委員の任命について同意を求めるの件
- 山梨県人事委員会委員の選任について同意を求めるの件

**採択された請願**

- 生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書の提出を求めることについて
- 「地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書」の提出を求めることについて
- 加配定数の振りかえによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図ることに係る意見書
- 人口減少の危機を克服するための抜本的・集中的な取組を求める意見書

**可決された意見書**

- 生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書
- 地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書
- 加配定数の振りかえによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
- 人口減少の危機を克服するための抜本的・集中的な取組を求める意見書

# 委員会レポート

総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会は、七月四日、五日に令和六年度一般会計補正予算案等の付託議案及び請願に係る審査を行い、七月十日の本会議では、各常任委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。

## 総務委員会

委員長 臼井友基



### 再配達削減推進事業費補助金

**問** 市町村が行う宅配ボックスの購入支援に対し助成を行うとのことだが、補助制度の概要は。また、現在の市町村の補助制度の創設状況は。

**答** 市町村が補助する額に対し県が二分の一の助成を行うもので、具体的な負担割合は、県市町村がそれぞれ四分の一、自己負担が二分の一とし、県負担の上限額は一世帯当たり五千円とした。物流の二〇二四年問題は喫緊の課題であるため、令和七年度までの二か年で集中的に事業を行う。補正予算額九千万円については、通信販売を頻繁に利用し、かつ再配達の割合が

高い県内世帯数を約五万四千世帯と推計し、今年度の市町村における事業実施期間として想定される下半期を勘案し、約一万八千世帯に補助できる額を計上した。

また、より多くの県民に購入支援が行き届くよう、県では、各市町村に対し補助制度の創設を働きかけている。これまでも複数の市町村から問い合わせを受けており、市町村では県の取組に呼応し、随時、補正予算措置できるような準備を行っている。

【その他の主な質問事項】  
・やまなし人材定着奨学金返還支援基金条例制定の件  
・人口減少危機対策支援事業費

### 教職の魅力発信強化事業費

**問** 目的と期待される効果は。また、魅力の発信等の具体的方法は。

**答** 地域全体に、教員の仕事や魅力を発信することを通して、より多くの県民の皆様が教員を支える気持ちを共有し、教職の道志す人に働きかけることを目的とする。また、教員の魅力を発信して、教員を応援する取組により、現在働いている教員も社会に支えられていることを実感し、生き生きと働くことにつながる。さらに教員の生き生きと働く姿を見せることや、社会全体において、教員を応援する機運や教育を支える

機運が高まることにより、本県の教員を志そうという機運も高まる効果を期待する。

また、魅力の発信等の方法については、大学や企業、教育関係団体等を中心に協力を依頼して会議体を設置し、教育界だけではなく、様々な立場の方から教員確保の取組や教員の魅力発信のための方法について意見を伺いながら、魅力発信に適したメディア等を活用し、教職の魅力を広く発信する。

【その他の主な質問事項】  
・峡南南部医療体制再編支援事業費補助金  
・DPAT体制強化事業費補助金  
・ヤングケアラー支援人材育成事業費

## 教育厚生委員会

委員長 笠井辰生



## 農政産業観光委員会

委員長 長澤 健



### 美術館附属 デザインセンター事業費

**問** 新たに設置する県立美術館附属のデザインセンターは、どのような役割を担うのか。また、どのように整備していくのか。

**答** デザインセンターでは、デザイン思考を活用した政策形成や地域活性化、地場産品のデザイン力の強化などの役割を担って行く。また、企業や地域などを巻き込んで、県全域で新たな価値が自律的に創出されるような仕組みを構築していく。

整備にあたっては、本県のデザイン推進拠点として、また、全国に例のない全く新しい形の総合型デザインセンターとしてふさわしい、洗練された空間になるよう整備していく。さらに、デザイナーやアーティストだけでなく、デザイン思考を生かした経営や事業展開を図りたい人たちが気軽に訪れることができ、デザインに関する交流の場とすることが生まれてくるような空間をつくっていききたい。

### 山梨県ゴルフ場等造成事業の適正化に関する条例改正の件

**問** 条例改正に至った理由は何か。また、大規模な開発により自然豊かな本県の魅力が失われることがないよう、どのように対応していくのか。

**答** ポストコロナ社会において、ゴルフの人気拡大など社会情勢が変化し、また、造成事業においては、技術的進展を背景に、災害への安全性を確保した上で、より合理性のある計画が可能となっている。加えて、令和五年二月定例会において、県議会から、県土の強靱化と高付加価値化に関する提言があった。このような状況を踏まえ、市町村の意向を聞き取るなどの検

討を行い、これまでの新規開発を事実的に凍結する運用を見直し、併せて、より合理性のある造成計画が可能となるよう、条例を改正することとした。

また、今回の改正では、全ての関係市町村の同意を許可基準に明確に位置付けるとともに、災害の防止や環境の保全が図られ、かつ地域の意見を最大限尊重した計画のみを受け入れる。造成事業の完了まで県が確実に検査するなど、しっかりと指導していく。

【その他の主な質問事項】  
・環境整備事業団改革プラン策定事業費  
・やまなしKAIITEKI住宅相談窓口設置事業費

## 土木森林環境委員会

委員長 桐原正仁



## 常任委員会 県内調査

各常任委員会では、議会閉会中に、それぞれ所管する事項の審議の参考とするため、県内外に出向き調査活動を行っています。今回は、令和六年五月、六月に実施した各常任委員会の県内調査の主な状況について御紹介します。

### 総務委員会



山梨学院中学校・高等学校において、校内や授業を視察(写真)した後、学校の概要及び特長等について説明を受けました。また、県立就業支援センターにおいて、センターの概要及び業務内容等について説明を受けた後、施設内を視察しました。

### 農政産業観光委員会



県産業技術センターにおいて、県内中小企業への研究開発の支援の取組について説明を受けた後、センター内のイノベーション支援棟を視察(写真)しました。また、南巨摩合同庁舎において県産ブランド魚「富士の介」の生産拡大に向けた取組について説明を受けた後、忍沢養殖場にて富士の介の養殖の現状を視察しました。

### 教育厚生委員会



県立高等支援学校桃花台学園において、学校の概要及び特長等について説明を受けた後、校内や授業を視察(写真)しました。また、県立聴覚障害者情報センターにおいて、センターの概要及び業務内容等について説明を受けた後、試写室等を視察しました。

### 土木森林環境委員会



県富士山科学研究所において、やまなし生物多様性地域戦略及び特定外来生物の研究等の取組について説明を受けた後、施設内を視察しました。また、同研究所において、富士スバルラインの雪崩対策等について説明を受けた後、現地視察(写真)を行いました。

## 議会活動の紹介

多様な学びの場の提供に関する政策提言案作成委員会を設置

四月二十二日に開催した山梨県議会政策立案特別検討会議において、「個々の子供の状況に応じた多様な学びの場の提供」が政策提言案の対象とすべき事項に決定したことを受け、多様な学びの場の提供に関する政策提言案作成委員会（望月勝委員長）を設置しました。

同委員会は、五月十三日に第一回、六月十八日に第二回の委員会を開催し、政策提言に向けて、引き続き研究及び検討を行ってまいります。



多様な学びの場の提供に関する政策提言案作成委員会

委員長 望月 勝

副委員長 臼井 友基

- 委員
- 藤本 好彦
  - 飯島 力男
  - 小沢 栄一
  - 向山 憲稔
  - 寺田 義彦
  - 笠井 辰生
  - 菅野 幹子
  - 福井 太一

指定管理施設・出資法人調査特別委員会を設置

指定管理施設の管理の業務又は経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査する指定管理施設・出資法人調査特別委員会（浅川力三委員長）を七月十日の本会議において設置しました。

調査の対象は、四十四の指定管理施設と県が資本金等の四分の一以上を出資している三十法人です。同委員会は閉会中も該当施設・法人の審査や現地調査などを継続して行い、その結果を九月定例会で報告する予定です。



指定管理施設・出資法人調査特別委員会

委員長 浅川 力三

副委員長 長澤 健

- 委員
- 石原 政信
  - 中村 正仁
  - 小沢 栄一
  - 大久保 俊雄
  - 久嶋 成美
  - 清水 喜美男
  - 佐野 弘仁
  - 志村 直毅

関東甲信越一都九県議会議長会

五月十三日、新潟市内で関東甲信越一都九県議会議長会が開催され、各都県の正副議長が出席し、本県提案の「人口減少危機を克服するための取り組みの推進」など十項目を国へ要望することを決定しました。本県からは、卯月政人議長と清水喜美男副議長が出席しました。また、翌十四日は、信濃川の水害、大河津分水の歴史や大河津分水路改修事業の現地を視察しました。



提案を行う卯月議長(右)、清水副議長(左)



信濃川大河津資料館での視察の様子

デジタル化推進委員会

デジタル化推進委員会（卯月政人委員長）を、七月十日に開催し、議員活動に係る情報発信の充実を図るため、山梨県議会ホームページのリニューアルの検討を行いました。



9月定例会の予定

9月定例会は次のとおり開催する予定です。常任委員会については分散開催を実施する予定ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 9月 26日(木) 本会議(開会)    | 7日(月) 常任委員会    |
| 10月 1日(火) 本会議(質疑・質問) | 8日(火) 常任委員会    |
| 2日(水) 本会議(質疑・質問)     | 9日(水) 常任委員会    |
| 3日(木) 本会議(質疑・質問)     | 11日(金) 本会議(閉会) |
| 4日(金) 本会議(質疑・質問)     |                |

\* 現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

ホームページ、会議録をご覧ください



県議会に関する各種情報を、ホームページからご覧いただけます。

また、本会議の会議録については、県議会ホームページの会議録検索システムのほか、県立図書館、最寄りの各地域県民センター、お住まいの市町村議会事務局でもご覧いただけます。

山梨県議会 検索

